祝長寿

紹介します　満90歳の笑顔

九月十五日の敬老の日、今年新しく九十歳を迎えられた三人の方と百二歳で県下一の長寿者となった相沢トセさん宅を福祉事務所長、金子村長、村社協会長の本間八十太郎さんが表敬訪問し、祝状や座ぶとん、記念品を贈り、長寿を祝いました。

——本当におめでとうございます。これからも身体を大切にしてもっともっと長生きしてください。

——と金子村長の言葉に〝ありがとうございます〟と二ッコリ、うれしそうでした。

満九十歳の笑顔、紹介します。

竹内栄蔵さん
(明25.3.21)

成田ハルさん
(明24.5.10)

岩佐トノさん
(明25.1.30)

社協だより

敬老の日表敬訪問しての印象

岩室村社会福祉協議会会長
本間　八十太郎

県・村及び村社協でこの程百二歳の相沢トセさんと、満九十歳の竹内栄蔵さん、成田ハルさん、岩佐トノさんの四家庭を訪問し、長寿された秘決は何かと、表敬の意味を含めて伺ったところ、総じて共通の処生観として人物評は次のようであった。

▽本人を囲む恵れた本来の家族構成が第一

古来からの日本の家の理想とする三代家族主義が顕現されている。祖先崇拝、親・子・孫へと縦の倫理が真の敬老の根源として実現されているために、和気あいあいのうちに育まれてきた。

▽本人の処生観に対しての人物評

報恩感謝の念に終始されている。報恩感謝は宗教の根源であり、日本道徳の根諦をなすものであることから勤め、働らかねばならない心が生ずる。勤労観に徹して働くことを天職と感じて高齢化しても働くことに徹しておられる。

病弱、貧困、孤独、無為の老人の四悪を追放し、自主独立の根性を発揮して今日に至って、体が動かせなくなったら、脚だけでも、次に手だけなり、これも不可能なら笑顔はできるはずと、この実現をされていられた。

共通している人物評は、「童心神に通ずる」で、あらゆる苦難を克服して童心に還っておられる。心に太陽を包蔵しての和(慈)顔、仏教の言葉に顔施とあるが、つねにニコニコとして、家を明るくしておいでのようである。

臨済宗妙心寺派の山田無門管長が先日当村で法話された、般若心経の直意である「五蘊皆空」に近づいておいでのことがうかがわれ、対面していて頭の下る思いであった。

▽社会福祉の輪を更に広げるために

住民総参加へまでの輪を広げるには、生活に宗教を持ち慈悲の心を育むことから真の福祉社会が出現することとなる。

他町村にさきがけて、村独自の社協大会を持つために、評議員会を早急に構成したいことを提唱し、念願している。

——公民館図書のお知らせ——

▽日本国語大辞典(全二十巻)、▽大漢和辞典(全十三巻)、▽料理百科ベスタ(全十五巻)、▽家庭医学百科シリーズ(全十二巻)▽郷土資料事典—旅と観光(全四十七巻)、▽天文ガイドブックセット(全六巻)、▽国語六法シリーズ(八巻)、▽ギリシア・ローマ神話、▽新仏教辞典、▽聖書、▽顕微鏡の使い方、▽戦争中の暮しの記録、▽生物学辞典、▽標準音楽辞典、▽いけばな入門、▽茶の湯・表千家、▽茶の湯・裏千家▽科学のアルバム(全七十三巻)▽ドキュメンタリー(全十九巻)▽類別民話と伝説(全二十四巻)▽小学館入門百科シリーズ(四十巻)、▽母と子の絵本(全三十八巻)、▽学習百科図鑑(既刊三十巻)、▽こぐまちゃんの本(全十二巻)、▽創作こどもの本(全十五巻)、▽こどもがはじめてであう絵本(全十六巻)、▽十万分の一の偶然、▽日本人の良心、▽石川節子、▽なんて美しい女性だろう、▽明日はわが身、▽三毛猫ホームズの狂死曲、▽教育は死なず正・続、▽ゼロサム社会、▽それでも朝がくる上・下、▽私家版日本語文法、▽夜行列車殺人事件▽男でござる・龍の巻・風の巻、▽銀の座席、▽おんな太閤記上、▽窓ぎわのトットちゃん、▽精神病棟の二十年、▽おもしろ酒肴、▽良寛全集(一巻)

あなたの(福祉)年金証書です
忘れずに受取りに行きましょう

1. 日時，場所

日	会場	午前(9:30〜12:00)	午後(1:00〜3:30)
10月8日(木)	間瀬支所	間瀬1区〜4区	間瀬5区〜7区
10月12日(月)	石瀬公会堂	金池，石瀬，久保田，猿ヶ瀬，南谷内	
〃			岩室，樋曽，栄橋本
10月14日(水)	岩室村民公館	北野，夏井，西中，潟上，白鳥西長島	横曽根，西船越新谷，油島，高畑
10月16日(金)	役場	原，津雲田，富岡，高橋	和納1区〜7区
10月19日(月)	役場	和納8区〜12区	都合が悪く指定された会場へ来られなかった人

2. 持参するもの

○印鑑，通知書(印鑑は郵便局で年金をもらう時に使用している印鑑)

(注)なお，当日は代理の方でもさしつかえありません。

暮らしの健康
母子の健康を考えよう
一才六ケ月

一才六ケ月の頃の子供とは、どんな時期なのでしょうか。

乳児期を終え幼児期に入ったこの時期は、いわば人間としての本格的な生活に第一歩を印す時期といえます。

脳の発達とともに、運動機能や知恵も発達し、生活習慣が形成されてきます。そのため、動きは能動的であり、好奇心にあふれ、周囲の人や物に対して積極的にふれようとします。例えば、絵本を見ると興味を示し、自分の知っているものが描かれていると、得意になってその名前をよんだりします。

言葉——言葉もママ、パパなど意味をもった片言が言えるようになり、二才には、「パパいない」など二語文を言うようになります。相手の話す簡単な言葉も理解するようになり、親の命令や禁止もわかります。また、簡単な用事もできるようになります。

このように、子供たちは、人間として成長していくのに大切な思考や行為をしだいに学んでいくので、優しく語りかけてあげ、これからの発達をのばしてあげましょう。

自立心の芽生え——一才六ケ月頃から、依存から自立への芽生えが出てくるため、自己中心的でわがままです。中には、しばしばかんしゃくを爆発させる子供もいますが、これは情緒の発達上、当然のことです。

ですから、この時期でつまづくことは、取り返しのつかない結果を招くことにもなりかねません。かんしゃくをおこしたときは、おこったりせず、まず無視すること、かんしゃくをおこしても利益がなければ子供は自然にやめるものなのです。

人まね——一才近くから人まねするようになりますが、一才六ケ月頃から、いよいよ盛んになり、両親、家の人の行動をそのままねたりします。この人まねは、子供にとって貴重な学習の方法であり、これを通じて多くのことを学びながら、多くの行動を生活習慣として身につけていきます。

ひとりで食事——ひとり歩きや階段をのぼるなど、全体運動の発達のほか、こまかい運動の発達のあらわれが、スプーンをもっての食事です。まだ、ボロボロこぼしますが自分でやりたがる年令です。すこしくらいこぼしても、ゆるしてあげましょう。

このように、一才六ケ月児は、人間としてあらゆる点でスタート台にのぼったばかりの存在です。家族全員で子供の姿を見守り、よい方向に伸ばしてあげましょう。

(文責　保健婦)

数々の善意
ありがとうございます

▽和納六区のからおけ愛好会代表竹内勝衛さんから和納祭れでからおけ大会を開催した折いただいた祝儀、金二万円を社会福祉のために役立ててほしいとご寄付がありました。

▽釧路市の宝力一郎さんから岩室村の振興と福祉のために役立ててほしいと金十万円のご寄付がありました。

▽川崎市の岩渕勇さんから(義姉、スギ五十五年九月一日没)のご冥福を祈られて社会福祉のために役立ててほしいと金一万円のご寄付がありました。

▽和納五区の小林文五郎さんから(妻、セズ八月二十四日没)のご冥福を祈られて金五万円のご寄付がありました。

▽吉田町の久保田屋書店から少年少女世界名作文学全三十巻のご寄付がありました。

いずれもご趣旨に添い有意義に活用させていただきます。ありがとうございました。

毎年十月になると、たくさんの赤とんぼと、たくさんの赤い羽根をみうけます。あのまっかな羽根は、わたしたちみんながもっている、やさしさとたすけあいの心をあらわした、しるしです。

世の中には、いろいろな人がいます。なに不自由ない生活をしていたのに、ある日とつぜん、けがをして手足が不自由になったお友だち、生まれたときからなにかの事情で両親を知らないお友だち、病気でねたきりのおとしよりなど……ほんとうにさまざまの人が、さまざまなくらしをしています。

そこで、このような人たちが、少しでもしあわせな生活ができるよう、みんなで協力して明るいみよい社会をつくっていくためにご協力下さい。

後日各字の嘱託員の方々を「共同募金運動推進員」に委嘱し、「封筒募金」の方法で一世帯三〇〇円程度を目標に、ひとり募金をお願いすることになりました。共同募金会から配布されるチラシなどもお読みいただいた上、格別のご理解とご厚意をお寄せ下さいますようお願いいたします。